

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム やすらぎ

## 目標達成計画書

作成日: 平成 28 年 1 月 19 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害対策	年2回避難訓練を昼夜想定で行っているが、2階の利用者9名が、2階の一時避難場所で待機する確認や、救出方法を消防署と密に話し合い、安全に全員が救助出来る体制を整えていく。	夜間想定避難訓練を職員が利用者職員になって、全員を避難誘導する体験を何度も実施し、夜勤者が自信を持つまで目標タイムを掲げて実行していく。また、1階の利用者が避難場所地域の方に見守りをして貰える協力体制も確立していく。	12ヶ月
2	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議は年々参加委員が少なくなり、メンバーも固定化しているので、会議の内容や議題を検討し、参加委員を増員し、ホームの運営に反映出来るように取り組んでいく。	地域で活動している有識者や知見者、複数の民生委員、薬剤師、他事業所の管理者等に参加を募り、参加委員にとっても知識や情報を習得できる大事な会議として、委員が参加したくなるような運営推進会議になるように取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。